

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 名張市立北中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒518-0615

三重県名張市美旗中村2380番地

E-mail g01\_j-kita@nabari-mie.ed.jp

Website http://www.nabari-mie.ed.jp/j-kita/

幼児児童生徒数 男子 278名 女子 257名 合計 535名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成 ―感動・感謝・そして成長―」を学校教育目標として、ESDの実践を通して、目標をもち、自ら学ぶ生徒、自ら考え、自ら行動する生徒、人とつながり、学び合う生徒、心身ともに健康な生徒の育成を目標とした。

具体的には、①福祉に係わる活動、②平和・人権に係わる活動、③キャリア教育に係わる活動を行った。

### ①福祉に係わる活動

1年生は、障がいのある人とのふれあいやつながりを大切にし、障がいのある人を取り巻く課題の解決をめざすことを目的として、市内の学校、福祉施設に訪れる等、障がいのある人との交流を通じて、共生社会の実現に向け大切なことは何かを考える。

そこで、生徒が下記6つの講座から選択し交流学习を行った。

- ① 三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園
- ② 心身障害者小規模作業所 れもんぐらす
- ③ 社会福祉法人 名張育成会 名張育成園

- ④ 社会福祉法人 サンフラワー名張ファクトリー
- ⑤ 点字・視覚障がい
- ⑥ 手話・聴覚障がい

1年生全員が、上記講座に別れ、それぞれについて学び交流を通して学習を深めた。学習したことについては、発表会をもち、プレゼンテーションや寸劇で生徒保護者に紹介した。

## ②平和・人権に係わる活動

2年生は、長崎への修学旅行で、「平和」をテーマとし、戦争や原爆の恐ろしさを知り、平和・人権の尊さを学ぶことを目的として平和学習に取り組んだ。

具体的には、長崎への修学旅行の意義を考え、原子爆弾の恐ろしさや戦争の醜さについて学び、原子爆弾や戦争の恐ろしさを学んだ上で、平和な世界の実現のために自分たちは何をすべきなのかを考えさせた。

事前学習として、地域で活動する団体による平和コンサートにおいて、名張にもあった戦争について知り、この活動をしている人たちの思いを知り、自分たちが修学旅行で長崎を訪れる目的を確認した。

長崎では、ボランティアさんのガイドによる碑巡りや被爆体験講話、平和セレモニーの実施などを行い、平和の大切さについて学習した。下平作江さんの講話では、被爆体験や戦争原爆の悲惨さ、平和の尊さについてお話を聴き、その後「今この時代に」を作詞作曲された園田鉄美さんと一緒に合唱を行った。長崎を訪れ学んだ、平和の大切さ、尊さについて、文化発表会で、全校生徒や保護者に紹介した。

## ③キャリア教育に係わる活動

3年生は、3日間の職場体験学習を通して、実際の職場で仕事を体験し、学校では学べないことを体得することで、自分の将来の職業や進路に対する理解を深める活動を行った。働くことの厳しさや苦勞、喜びなどを体験するとともに、人との接し方や社会生活における社会規範を学ぶ。そして、将来の生き方を考え、自分の可能性を発見することを目的とした活動である。

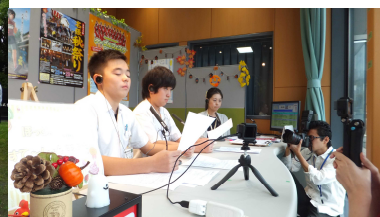
生徒は、職場体験学習の取り組みを通して、働くことの大変さや大切さはもちろんのこと、あいさつや社会的なマナーなど人として生活する上で大切なことを再認識した。そして、今後進むべき自分の進路に向けて、自分の適性や能力を見つめ、考えを深めることができた。



福祉に係わる活動  
施設での交流



人権・平和に係わる活動  
平和公園でのセレモニー



キャリア教育に係わる活動  
報道機関での活動

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(キャリア教育 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では、「生徒が自ら考え課題解決型の自らを拓く学びの力の育成をめざして～聴き合い、学び合う授業づくり～」テーマに、聴き合い、学び合う場면을意図的に授業に組み込み、工夫していくことで、ともに関わり合い、安心して学び合える関係性が育つとともに、生徒一人ひとりの自ら学ぼうとする意欲が高まり、豊かな学びの力が育つであろうとの仮説に立ち指導方法の工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校長をトップとして、研修担当や魅力ある学校づくり担当及び、小中一貫を見越した小中連携担当等を中心として、義務教育９年間を見通した学習活動の取組についての体制づくりを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校の教育活動の取組については、保護者アンケートや学校関係者評価委員の方々のご意見を伺いながら取り組んでいる。そこで、本校の研修である授業を中心としたなかまづくりは、豊かな人間関係と居場所づくりは本当に大切であり、成果が現れているとのご意見を頂いた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度） ※チェック事項 2-2 に対応

学校だよりやホームページにより地域や保護者に発信した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（２００字程度） ※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度） ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調した

い) 内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度)  
※チェック事項2-5に対応

学級満足度調査(Q-U調査)や各種アンケートにおいて、学校生活が楽しいと回答する生徒が93.36%、魅力のアンケートでは96.4%であり、Q-U調査においても満足群の生徒が全国平均を大幅に上回った。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

平成30年度も学校教育目標の達成に向け、これまでの取組を継承し①福祉に係わる活動 第1学年での交流学习、第2学年での平和・人権に係わる活動 修学旅行先が広島に変更となるが、修学旅行を通して平和をテーマとして戦争や原爆の恐ろしさ平和の尊さ大切さを学ぶ機会とする。第3学年では義務教育最終学年としてキャリア教育に取り組む予定である。